# 地域の幼児教育推進の拠点としての取組

- 1 園内研究会を外部にひらく(大学連携・地域連携の学び合い)
- 2 研究協力園訪問(研究協力者の捉え直し)
- 3 おしゃべりカフェ(研究協力園とのオンライン対話)
- 4 PTA活動「ふようカフェ」(大学・保護者連携)

### 1 園内研修を外に開きながら語り合う(大学連携・地域連携の学び合い)

- ・県幼児教育支援センターと連携した市町幼児教育アドバイザー・園内リーダー養成事業を展開。地域と行政をつなぐ10年来継続した取組
- ・本園の「園内研究会」「月曜カンファレンス」は、園外の 先生方が参加可能。県内のみならず、県外からも多数参加。
- ・特に「園内研究会」は、午前中は保育参観、午後は本日 の子どもの姿をもとに、本園の教師とともに保育について語 り合う。
- ・毎回、福井大学教職大学院から岸野麻衣教授、宮本雄太 准教授が参加。フラットに語り合う中で、毎回新たな価値を 共創。



## 2 研究協力園訪問(研究協力者の捉え直し)

- ・本園の研究協力者は、市町担当課や各協会と相談の上依頼。
- ・県内の公私立8園から、園長や主任保育士等、各園の要となる方が選ばれている。
- ・しかし、園に来ていただくのは、6月、10月、11月の年3回のみで、6月の研究集会当日は、グループのファシリを担当していただいたが、本園の教員とはほとんど話をする時間がなかった。また、こちらから協力園に伺うことは今までなかった。そこを見直そうと、夏休みに本園職員が各園を訪問した。
- ・研究協力者という存在を捉え直し、互いに行き来し、語り合える機会を増やし、 学び合える関係性を築く。
- ・こども園を訪問し、0、1、2歳の子どもの姿や保育士の姿に出会った。「見えていないけれども確かにある」子どもの育ちを、私たちも学ばなければと感じた。

### 3 おしゃべりカフェ (研究協力園とのオンライン対話)

- 研究協力園訪問をしていて、「普段から気軽に話せるといい」という話から生まれた取組が「おしゃべりカフェ」。
- ・月1回、研究協力者に招待URLを送付し、可能ならZoomに入ってもらい語り合う。
- ・「運動会これでいいのかな?」などざっくばらんに語り合えるテーマを設定したところ、各園のこだわりも見え、相互理解が進んだ。
- ・研究協力者のみならず、同僚と一緒に参加してくれることも。





## 4 PTA活動「ふようカフェ」(大学・保護者連携)

- ・保護者に向けた子育て支援の取組が「ふようカフェ」
- ・講師は福井大学教育学部の若手教授らを紹介していただく。
- ・今年度はよりカフェ風に、座席やお菓子、飲み物を用意するなど環境を工夫。
- ・「運動」「音楽」などをテーマに講義を聞き、子育てについ て保護者が交流。
- ・「子どもの運動あそび・挑戦する気持ち」がテーマの回では、 席を立ち、講師と実際に身体を動かしながら談笑する保護者ら も見られ、和やかな雰囲気の中での語り合いの場となった。



